

〇〇〇〇 年 〇 月 〇 日

〇〇銀行 御中
〇〇 信用保証協会 御中

経営状況の変化に関する報告書

本店所在地※1	〇〇〇〇〇〇〇〇		
顧客名	株式会社〇〇〇〇	代表者名	〇〇〇〇〇〇〇〇

※1 個人事業主の場合は主たる営業所をご記入ください。

認定経営革新等支援機関と連携のうえ、月次で財務状況や資金繰り状況等を把握（月次管理）した結果、経営状況の変化を察知したため、以下のとおり報告いたします。

・報告書提出基準

下記のいずれかに該当する場合、直近決算書と併せて本報告書をご提出ください。

☐ ・今後6か月以内に資金不足が懸念されるとき

※資金繰りの見込みを明らかにする書類（資金繰り表等）をご提出ください。

☒ ・上記に該当しないが、経営状況の変化に関する報告が必要と判断したとき

【報告理由】 ←

「上記に該当しないが、経営状況の変化に関する報告が必要と判断したとき」に該当する場合、報告理由を記入する。

仕入単価の上昇による大幅な収益力の悪化。

・経営状況の変化に関する具体的内容等

【経営状況の変化を察知した経緯、変化の原因、今後の見通し等】

燃料費や材料費の高騰を受け、本年7月に主要仕入先より仕入価格の改定を要請された。要請を受諾することとし、販売先に対して価格改定の交渉を行っているが、価格転嫁が十分に進んでいない中、11月より改定後の価格による仕入が開始している状況。現状のキャッシュポジションであれば当面の資金繰りに支障はないが、この状況が長期化すれば資金繰りに支障をきたすことが懸念されるため、速やかに価格転嫁を進める必要がある。
また、並行して現場の改善に取り組み、生産性を向上し利益率改善も図りたい。

【金融機関記入欄】

協会顧客番号	〇〇〇〇〇〇	金融機関受付日	〇〇年〇月〇日
金融機関名	〇〇銀行	本支店名	△△支店
担当者名	〇〇〇〇〇〇〇〇	電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

【保証協会記入欄】

・事業者、認定経営革新等支援機関及び金融機関との対話を通じた今後の支援方針

支援方針	備考
☒ 経営支援の検討	令和〇年〇月〇日に保証協会事務所にて4者協議を実施し、今後の方針について以下の内容で認識共有を図った。 ・保証協会は生産現場の改善に長けた専門家を派遣し生産性向上による利益率改善のサポートを行う。 ・金融機関は「よろず支援拠点」の価格転嫁サポート窓口の担当者を紹介し、価格交渉のサポートを行う。
☐ 金融支援（新規融資）の検討	
☐ 金融支援（条件変更）の検討	
☐ 静観	
☒ その他	